

重点課題

【課題1】
 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことができる。
 (B設問1三：正答率0%)
 無解答はおらず全員なんとか書こうとしているが、理由が二つあることに気づいたのは1人で、あとは1つしか記述していない。(91.7%)

【課題2】
 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる。
 (A 8三エ：正答率8.3%)
 無解答はいないが、根拠なくどれかを選んでいる。(91.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

【課題1】
 「文章の概要を捉え、自分の言葉でまとめる」という活動を行い、内容理解を図る。また、問題文の読み方に注意させ、何が問われているのかを自分の言葉で説明させていく。支援を要する生徒については、結論に着目させ、重要事項に印をつけながら考えさせていく。

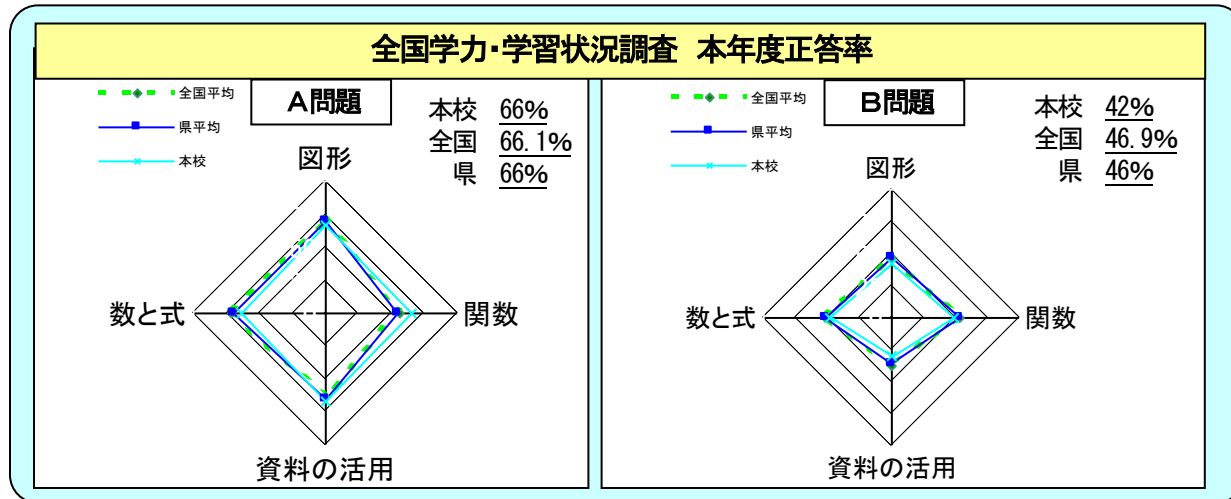
【課題2】
 読書の推奨・意味調べの活用・ドリル学習・日常生活での活用等、繰り返し刺激を与え続ける。支援を要する生徒については、かるた等を用いながら遊びの中でも触れさせ、語彙を広げていく。
 ※小中一貫した取組については、意味調べ等の活動を積極的にを行い、ことわざ等も会話の中に織り交ぜて話し、言葉のシャワーを浴びせていき、語彙力アップを図る。また、日常生活の中に見られる主述のねじれも修正していく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生：期末試験	3年生：学年末試験	2年生：H30全国	2年生：学年末試験
目標値				50%	70%	50%	70%
実施後数値				55%	60%	35%	55%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生：期末試験	3年生：学年末試験	2年生：H30全国	2年生：学年末試験
目標値				50%	70%	50%	70%
実施後数値				41%	52%	20%	75%

来年度に向けて

あらゆる文章にふれる際に、まずは概要を捉え、自分の言葉でまとめることを行う。また、教科の授業のみならずドリルタイム等の補充学習を活用しながら繰り返し練習を行い、知識の注入及び語彙力の向上を図る。



重点課題

【課題1】 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる。
(B 設問5 (1)) 数量関係 (正答率0%)
割合を求める式はできているが百分率で表すことができていない生徒が18.2%

【課題2】 数学的な結果を事象に即して解釈することを通して、成り立つ事柄を判断し、その理由を数学的な表現を用いて説明することができる。
(B 設問5 (2)) 数量関係 (正答率0%)
計算結果にaが含まれていないことの記述はないが、団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかということや通常料金に着目して記述している生徒が45.5%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 実生活の場面で、事象を目的に応じて数値化して判断する場面を設定し、与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができるような指導を行う。また、割合(百分率)の必要性と意味について理解を深めさせ、実生活にみられる割合を求めてそれが表している意味を考えさせることを取り入れる。

【課題2】 日常的な事象の考察において、表、式、グラフなどから得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができるようにし、ある事柄が成り立つことを説明する際には、説明すべき事柄とその根拠の両方を示し、数学的な表現を用いて簡潔にわかりやすく説明することができるような指導を行う。

この設問のように、文字式を用いて求めた後で計算の過程で通常料金を表すaがなくなることに着目し、その意味をもとの事象に即して考え、「団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるか」と通常料金の値に関係なく決まると解釈する活動を取り入れる。

※ 小中一貫した取組としては、「比較」、「関係付け」、「分類」、「推論」等の問題解決の能力を活用させながら、算数・数学的な思考力や判断力、表現力を養う。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生：期末試験	3年生：学年末試験	2年生：H30全国	2年生：学年末試験
目標値				50%	70%	50%	70%
実施後数値				46%	72%	50%	80%

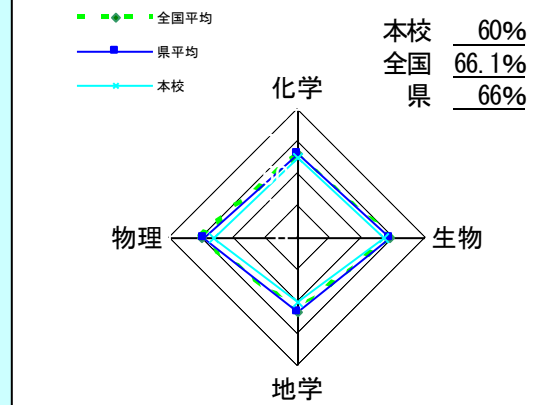
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生：期末試験	3年生：学年末試験	2年生：H30全国	2年生：学年末試験
目標値				40%	50%	50%	70%
実施後数値				46%	64%	40%	70%

来年度に向けて

割合の意味を理解させ、実生活で活用できるようにさせる。

文字式を利用することの良さを理解させ、日常的な考察においても数学的な表現を利用できるようにする。

全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題

- 【課題1】 北方向を向いた場合の方位の読み取りはできる。(設問3 (1)) 地学 (平均正答率18.2%) 観測地点における南北方向の視点の移動ができていない生徒が45.5%
- 【課題2】 変えない条件の1つが、金網とガスバーナーの炎との関係だという理解はできている。(設問4 (2)) 化学 (平均正答率36.4%) 決まっている変えない条件の1つがガスの量だとわかっているのに、ガスバーナーの炎の強さだと判断する生徒が63.6%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】 日常的な事象の中から、方位の読み取りを行う授業を仕組む。例えば、自分の部屋の窓の方向を見た場合の方位の読み取りをさせたり、理科室の四方の壁に東西南北の紙を貼り、北を見た場合や逆に南を見た場合の方位を読み取らせたりする授業を仕組んでいく。
 - 【課題2】 観察・実験を行わせる際に、条件制御を意識させた授業を仕組む。例えば、ワークシートの中に「変える条件」「変えない条件」を記入する欄を設け、個々で考えさせたり班や全体で発表させたりすることで可視化・共有化を図り、生徒の条件制御への意識を向上させる。
- ※小中一貫した取組については、各授業で問題解決となる展開を工夫し、比較、関係付けといった思考スキルを活用しながら、科学的な思考力、表現力を育てていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生：期末試験	3年生：学年末試験	2年生：H30全国	2年生：学年末試験
目標値				40%	60%	40%	60%
実施後数値				31%	46%	50%	60%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生：期末試験	3年生：学年末試験	2年生：H30全国	2年生：学年末試験
目標値				50%	70%	50%	70%
実施後数値				46%	54%	40%	55%

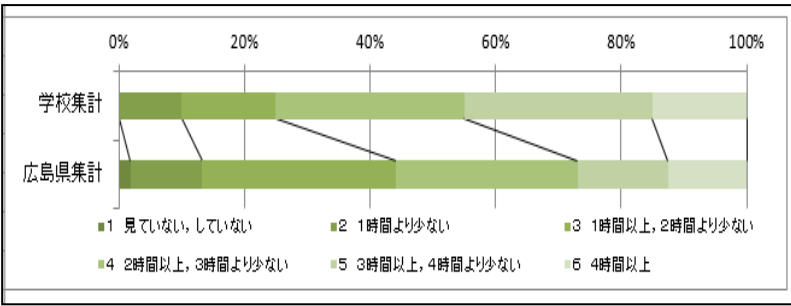
来年度に向けて

天体の単元を中心に、多角的な物の見方(地球から・宇宙からなど)を意識させた授業展開を行う。
 今後も観察・実験の際には、ワークシートに条件制御の項目を設け、常に意識の向上を図る。

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査)

(1) 生活・学習

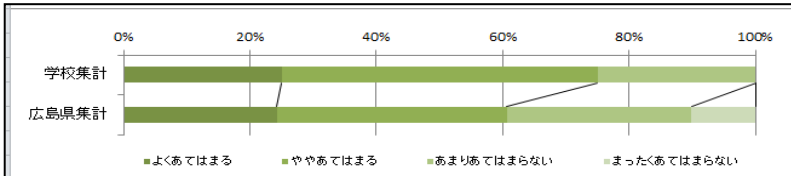
ふだん(月～金曜)一日に何時間くらいテレビを見たりゲームをしたりしますか。



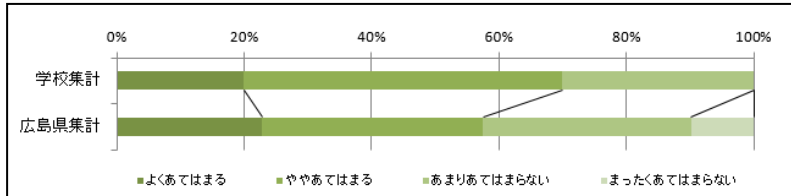
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	ふだん(月～金曜)一日に何時間くらいテレビを見たりゲームをしたりしますか。(2時間以上 75%)	自立ノートなどを通じて、日常生活での時間の使い方の見直しをさせる。読書や家の手伝いなどを推進する。	2	50% 未満	生活アンケート調査	3月	65%	-10
全国	自分には良いところがあると思う。(肯定的評価 41.7%)	仲間や集団から、個々への評価を促すような活動を仕組む。また、自身が自分の良さを見直せる活動を仕組む。	3	60%	生活アンケート調査	3月	64%	+22.3

(2) 教科

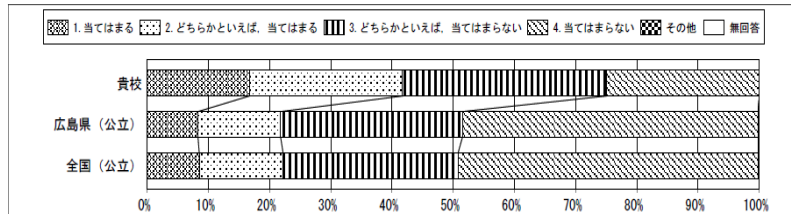
国語の授業で学んだことを生活で使えるのか考えている。



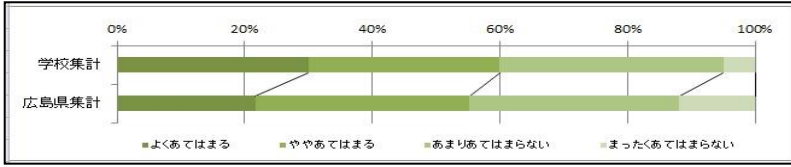
数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思っている。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしている。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしている。(肯定的評価75%)	総合的な学習の時間や他教科等との関連も含めて、折に触れその関連性を示しながら取組むことで、その活用を実感させる。	2	85%	生徒アンケート調査	2月	89%	+14
数学	基礎・基本 「数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。」(肯定的評価70.0%)	課題を解決していくには、解決するための根拠を各自にじっくり考えさせ、相手を意識した説明をさせる。	2	80%	生徒アンケート調査	12月	80%	+10
	全国 「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。」(肯定的評価66.6%)	授業で学習したことが、生活の中でどのように使われているかを教える。また、生活の中で数学が活用できるような課題を設定する。	3	75%	生徒アンケート調査	12月	72%	+5
理科	基礎・基本 理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。(肯定的評価55.0%)	観察・実験の際に、結果から分かったことを個々で記入する欄をワークシートに設け、班や全体で発表する場をより増やしていく。	2	70%	生徒アンケート調査	2月	65%	+10
	全国 将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思っている(肯定的評価41.7%)	理系の職業や偉人の逸話等について、理科室にポスター等を掲示したり、授業の中で話題にする機会を増やしたりして啓発に努める。	2	60%	生徒アンケート調査	2月	50%	+8
英語	基礎・基本 英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしている。(肯定的評価60.0%)	意見文や説明文、英語スピーチなどを聞いて、その内容について自分の意見や感想をペアやグループで話したり書いたりする活動を充実させる。	2	70%	生徒アンケート調査	3月	65%	+5